

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

コード番号 4927 URL <http://www.po-holdings.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 郷史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 久米 直喜

TEL 03-3563-5517

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	129,724	8.2	8,013	△8.8	8,425	△7.5	3,687	△32.7
23年12月期第3四半期	119,946	0.1	8,784	4.1	9,108	9.0	5,475	44.8

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 3,811百万円 (△17.3%) 23年12月期第3四半期 4,611百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	66.70	66.68
23年12月期第3四半期	99.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第3四半期	196,369	158,132	80.5	2,858.53
23年12月期	193,027	157,057	81.3	2,839.36

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 158,030百万円 23年12月期 156,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	20.00	—	25.00	45.00
24年12月期	—	25.00	—		
24年12月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	182,000	9.2	14,200	10.5	14,700	10.3	7,200	△10.4	130.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

Jurlique International Pty Ltd、Pola Or
新規 3社 (社名) bis Jurlique Holdings Pty Ltd、Pola Orbis Jurlique Pty Ltd、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	57,284,039 株	23年12月期	57,284,039 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	2,000,000 株	23年12月期	2,000,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	55,284,039 株	23年12月期3Q	55,284,039 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	12
(4) セグメント情報等	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	119,946	129,724	9,777	8.2
営業利益	8,784	8,013	△770	△8.8
経常利益	9,108	8,425	△682	△7.5
四半期純利益	5,475	3,687	△1,788	△32.7

(注) 利益面の前年同期減少要因については下記をご参照ください。

当第3四半期連結累計期間（平成24年1月1日～平成24年9月30日）におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかに回復しておりましたが、欧州財政危機に端を発した海外景気の減速や株式市場の低迷を受け、回復の鈍化が見受けられます。

国内化粧品市場においては、スキンケア化粧品を中心に比較的堅調に推移しております。海外化粧品市場においては、欧州の財政危機等による影響や中国、インド経済の成長鈍化の影響が懸念されるものの、中国を中心としたアジア地域では今後も緩やかな成長が見込まれます。

このような市場環境のもと、当社グループは平成23年からスタートした3ヶ年中期経営計画の2年目を迎え、引き続き国内基幹ブランドの収益力向上と育成ブランドの拡大を図るとともに、2月には豪州の化粧品会社ジュリークの買収が完了する等、海外市場への展開を継続して進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の**売上高**は、ポーラを中心とした順調な国内販売及び2月に買収したジュリークの業績取り込み等により前年同期比8.2%増の129,724百万円となりました。利益面では、**営業利益**はジュリーク買収に伴う一時的な売上原価の増加やのれん等の買収費用を計上したことにより前年同期比8.8%減の8,013百万円、**経常利益**は前年同期比7.5%減の8,425百万円となりました。**四半期純利益**は、前年同期に計上していた特別損失（東日本大震災関連損失及び資産除去債務等）が大幅解消した一方、国内課税所得の増加等に伴い法人税等が増加したことにより、前年同期比32.7%減の3,687百万円となりました。

[セグメント別の業績]

売上高 (外部顧客への売上高)

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	111,140	120,847	9,707	8.7
不動産事業	2,336	2,143	△193	△8.3
その他	6,469	6,732	262	4.1
合計	119,946	129,724	9,777	8.2

セグメント利益 (営業利益)

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	7,178	6,687	△491	△6.8
不動産事業	997	917	△80	△8.1
その他	343	214	△128	△37.5
セグメント利益の調整 額 (注)	264	193	△70	△26.7
合計	8,784	8,013	△770	△8.8

(注) セグメント利益の調整額とは、グループの内部取引に伴う利益及びセグメントに含まれない経費などを連結時に消去・加算した金額であります。なお、セグメント利益の調整額の詳細につきましては、P.12～13「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (注2)」をご覧ください。

(ビューティケア事業)

ビューティケア事業は、基幹ブランドとして「POLA」及び「ORBIS」を、育成ブランドとして「p d c」「FUTURE LABO」「ORLANE」「decencia」「THREE」を、海外ブランドとして「H2O Plus」「Jurlique」を展開しております。

POLAブランドでは、お客さま満足の上に向け、エステ併設型集客店舗「ポーラザビューティ」や百貨店店舗へのチャネル展開を進めるとともに、訪問販売で培った販売品質やカウンセリング技術の更なる向上に努めております。国内市場においては、3月と4月に夏特有の老化に着目した「B. A サマー」シリーズを発売したほか、「B. A」シリーズの体感型イベントを全国各地で開催する等、ポーラのエイジングケア技術を搭載した新製品を積極的に市場へ投入しました。海外市場においては、タイや香港における販売組織の拡大等、事業成長施策を実行しております。その結果、POLAブランドは前年同期を上回る業績となりました。

ORBISブランドでは、収益性の向上を図るべく、お客さまの継続購入率を高め、スキンケア化粧品のリニューアルやネット通販の強化、販売費用の効率化等に取り組んでおります。国内市場においては、新たなブランドステートメントとして“「オイルフリー派ダ」宣言”を掲げ、8月にはオイルカットによる新たな価値を提案した「新アクアフォースエキストラ」ラインの発売を行いました。海外市場においては、中国でのプロモーション活動等によりブランド認知拡大に向けた施策を実施しております。その結果、ORBISブランドは前年同期並みの業績となりました。

育成ブランド、海外ブランドについては、THREEブランドやdecenciaブランドの好

調な国内販売と、昨年7月に買収したH2O Plusブランドのアジアを中心とした事業展開並びに2月に買収したJurliqueブランドの業績を取り込んだ結果、前年同期を上回る売上高となりました。一方、Jurliqueブランド買収に伴う費用を計上したこと等により、営業利益は前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は120,847百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は6,687百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

（不動産事業）

不動産事業では、都市部のオフィスビル賃貸を中心に、魅力的なオフィス環境の整備による賃料の維持向上と空室率の低下に取り組むとともに、子育て支援に特化した新しいモデルとなる賃貸マンション事業も展開しております。当第3四半期連結累計期間は、賃料維持やテナント誘致に向けた営業努力を強化したものの、市場の賃料下落傾向の影響を受け、前年同期を下回る業績となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は2,143百万円（前年同期比8.3%減）、営業利益は917百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

（その他）

その他に含まれている事業は、医薬品事業及びビルメンテナンス事業であります。なお、印刷事業からは前第3四半期連結会計期間より撤退しております。

医薬品事業では、化粧品や医薬部外品研究で培ってきた当社グループの研究成果を活用し、新薬開発及び販売を行っております。これまでに新薬として外用抗真菌剤「ルリコン」と更年期障害治療薬「ディビゲル」の2品を上市したほか、緩下剤「アローゼン」や皮膚科関連等の医療用医薬品を全国の大学病院をはじめとする医療機関に提供しております。当第3四半期連結累計期間においては、医療機関訪問等の皮膚科領域に特化した継続的な営業活動により「ルリコン」のシェアが順調に拡大し、前年同期を上回る業績となりました。

ビルメンテナンス事業は、当社グループ会社を主な取引先としております。当第3四半期連結累計期間においては、当社グループ以外の受注を拡大すべく、新規取引先との成約に向けた営業活動を展開した結果、受注件数が増加する等して前年同期を大きく上回る業績となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は6,732百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は214百万円（前年同期比37.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3,342百万円増加し、196,369百万円（前連結会計年度末比1.7%増）となりました。主な増減項目は、ジュリークを買収したこと等に伴うのれん（償却後）の増加12,735百万円、無形固定資産「その他」の増加11,324百万円、商品及び製品の増加1,743百万円並びに有形固定資産「その他」の増加1,694百万円、余剰資金の運用による有価証券の増加4,304百万円、所有する青山ビル隣地取得等に伴う土地の増加1,645百万円により増加し、一方でジュリーク買収にかかる資金への充当等に伴う現金及び預金の減少29,279百万円により減少しております。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2,267百万円増加し、38,237百万円（前連結会計年度末比6.3%増）となりました。主な増減項目は、未払法人税等の増加1,386百万円、ジュリークを買収したこと等に伴う支払手形及び買掛金の増加1,266百万円並びに長期繰延税金負債等の増加による固定負債「その他」の増加1,177百万円、また、賞与引当金の増加826百万円により増加し、一方で販売手数料未払金の減少等による流動負債「その他」の減少2,379百万円により減少しております。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,074百万円増加し、158,132百万円（前連結会計年度末比0.7%増）となりました。主な増減項目は、四半期純利益の計上3,687百万円により増加し、一方で剰余金の配当2,764百万円により減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成24年7月30日に発表しました業績予想に変更はありません。

(参考情報)

前期累計期間実績

	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期
売 上 高	百万円 35,477	百万円 78,937	百万円 119,946	百万円 166,657
営 業 利 益	1,165	5,534	8,784	12,853
経 常 利 益	1,462	5,962	9,108	13,322
四半期純利益	594	2,989	5,475	8,039

前期会計期間実績

	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期
売 上 高	百万円 35,477	百万円 43,459	百万円 41,009	百万円 46,710
営 業 利 益	1,165	4,366	3,250	4,069
経 常 利 益	1,462	4,496	3,146	4,214
四半期純利益	594	2,395	2,485	2,564

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、Pola Orbis Jurlique Holdings Pty Ltd 及び Pola Orbis Jurlique Pty Ltdに対する出資を完了したことにより、連結の範囲に含めております。また、Jurlique International Pty Ltd の発行済株式の全てを取得したことにより、連結の範囲に含めております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,679	21,400
受取手形及び売掛金	20,719	19,208
有価証券	18,412	22,716
商品及び製品	9,664	11,408
仕掛品	1,648	1,658
原材料及び貯蔵品	4,351	4,828
その他	5,686	6,651
貸倒引当金	△69	△91
流動資産合計	111,093	87,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,134	16,855
土地	20,761	22,407
その他（純額）	12,523	14,217
有形固定資産合計	49,420	53,480
無形固定資産		
のれん	3,583	16,318
その他	8,553	19,878
無形固定資産合計	12,137	36,197
投資その他の資産		
投資有価証券	13,582	12,234
その他	6,958	6,845
貸倒引当金	△165	△168
投資その他の資産合計	20,376	18,912
固定資産合計	81,933	108,589
資産合計	193,027	196,369

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,894	4,161
短期借入金	1,500	1,779
未払法人税等	1,806	3,193
賞与引当金	1,561	2,388
その他	16,026	13,646
流動負債合計	23,788	25,169
固定負債		
退職給付引当金	6,795	6,505
その他	5,384	6,562
固定負債合計	12,180	13,068
負債合計	35,969	38,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	90,718	90,718
利益剰余金	59,469	60,392
自己株式	△2,199	△2,199
株主資本合計	157,988	158,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35	62
繰延ヘッジ損益	9	—
為替換算調整勘定	△991	△942
その他の包括利益累計額合計	△1,017	△880
新株予約権	—	27
少数株主持分	86	74
純資産合計	157,057	158,132
負債純資産合計	193,027	196,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	119,946	129,724
売上原価	23,400	26,449
売上総利益	96,546	103,274
販売費及び一般管理費		
販売手数料	31,518	32,502
販売促進費	12,081	12,947
広告宣伝費	5,071	5,459
給料手当及び賞与	12,454	14,239
賞与引当金繰入額	1,925	2,069
ポイント引当金繰入額	1,271	1,313
その他	23,439	26,727
販売費及び一般管理費合計	87,762	95,261
営業利益	8,784	8,013
営業外収益		
受取利息	387	357
受取配当金	20	20
為替差益	—	3
その他	195	138
営業外収益合計	603	520
営業外費用		
支払利息	40	49
為替差損	166	—
持分法による投資損失	—	33
その他	72	24
営業外費用合計	279	108
経常利益	9,108	8,425

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成23年1月1日 至平成23年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成24年1月1日 至平成24年9月30日）
特別利益		
子会社株式売却益	529	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	119
その他	28	15
特別利益合計	558	134
特別損失		
固定資産除却損	290	150
減損損失	572	12
災害による損失	425	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	954	—
その他	24	14
特別損失合計	2,267	177
税金等調整前四半期純利益	7,398	8,382
法人税、住民税及び事業税	4,277	5,071
法人税等調整額	△2,344	△361
法人税等合計	1,933	4,709
少数株主損益調整前四半期純利益	5,465	3,672
少数株主損失（△）	△10	△14
四半期純利益	5,475	3,687

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,465	3,672
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△196	97
繰延ヘッジ損益	—	△9
為替換算調整勘定	△658	52
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△1
その他の包括利益合計	△854	139
四半期包括利益	4,611	3,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,628	3,823
少数株主に係る四半期包括利益	△17	△12

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	111,140	2,336	113,477	6,469	119,946	—	119,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	89	503	592	4,308	4,901	△4,901	—
計	111,229	2,840	114,069	10,778	124,848	△4,901	119,946
セグメント利益	7,178	997	8,176	343	8,519	264	8,784

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業、印刷事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額264百万円には、セグメント間取引消去1,784百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,519百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、売却予定価額が帳簿価額を下回っているオフィスビルの固定資産及び遊休状態にある固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては548百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「ビューティケア事業」セグメントにおいて、平成23年7月の持分の取得に伴いH20 PLUS HOLDINGS, LLC、H20 PLUS, LLC、CSW H20 Holdings, Inc.及びH20 PLUS CANADA CORP.の4社を連結子会社化したことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては4,430百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティ ケア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	120,847	2,143	122,991	6,732	129,724	—	129,724
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58	471	530	2,257	2,788	△2,788	—
計	120,906	2,615	123,522	8,990	132,512	△2,788	129,724
セグメント利益	6,687	917	7,604	214	7,819	193	8,013

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品事業及びビルメンテナンス事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額193百万円には、セグメント間取引消去1,796百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,602百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度の末日に比して、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要は以下のとおりであります。

「ビューティケア事業」セグメントにおいて、Pola Orbis Jurlique Holdings Pty Ltd 及び Pola Orbis Jurlique Pty Ltd を新たに設立したこと並びに、Jurlique International Pty Ltd の株式を取得し同社及びその子会社11社を連結子会社としたこと等により、セグメント資産が30,875百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「ビューティケア事業」セグメントにおいて、平成24年2月3日付でJurlique International Pty Ltdの全株式を取得し、同社及びその子会社11社を連結子会社としたことに伴い、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては13,323百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。